



# も え れ

<http://www.nakanuma-e.sapporo-c.ed.jp/>

平成30年(2018年)10月1日  
学校だより No.10 特別号  
札幌市立中沼小学校  
TEL 011-791-0031



## 全国学力・学習状況調査結果の概要と改善の方向

4月に行いました、6学年対象の全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、本校の調査における概要と課題・改善の方向についてお知らせいたします。この結果は、学校ホームページにも掲載いたします。

### 本校の概要

### 今回の調査における課題

### 改善の方向

小学校  
・  
国語

#### 【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

#### 「書くこと」

○全国平均に比べ、上回っている。

#### 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

#### 「話すこと・聞くこと」

#### 「読むこと」

▼全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

#### 「話すこと・聞くこと」

#### 「書くこと」

#### 「読むこと」

▼全国平均に比べ、下回っている。

●相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと。

●目的に応じて必要な情報を捉えること。

●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

●目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。

●目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと。

○相手や目的を意識して説明をする場面を設定し、説明の仕方を工夫したり、内容や順序を考えて説明をしたりする場の設定や指導の充実。

○目的を明確にし、複数の本や文章などを選び、調べる内容を具体的にしたり、図鑑や事典などの読み方を身に付けたりして、必要な情報を捉えて読むことができるようにする指導の充実。

○必要な資料を集め、得た情報を適切に関連付けて書く指導の充実。

小学校  
・  
理科

#### 【領域】

#### 「生命」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

#### 「物質」

#### 「エネルギー」

#### 「地球」

▼全国平均に比べ、下回っている。

●土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること。

●実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述すること。

●複数の情報を関係付けながら分析して考察すること。

●実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。

○実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できるようにする指導の充実。

○複数の情報を関係付けながら、多面的に分析して考察できるようにする指導の充実。

○実験結果を基に分析し、問題に正対したまとめができるようにする指導の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

小  
学  
校  
・  
算  
数

【区分及び領域】

主として「知識」に  
関する問題（A）

「数量関係」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「量と測定」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「数と計算」

「図形」

▼全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に  
関する問題（B）

「数と計算」

「量と測定」

「図形」

「数量関係」

▼全国平均に比べ、下回っている。

- 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すこと。
- 小数の除法の意味について理解すること。
- 分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めること。
- 示された表現方法を基に空間の中にあるものの位置を表現すること。
- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見出すこと。
- 図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和について記述すること。
- ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合うものを判断すること。
- グラフから読み取ることができるところを適切に判断すること。
- 数量の関係を考察し、分配法則の式に表現すること。
- 考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述すること。

- 角の大きさの見当を付けて、どの角の大きさを測定すればよいかを捉え、分度器を用いて測定することができるようにする指導の充実。
- 空間の中にあるものの位置を正しく表したり、読み取ったりする指導の充実。
- 図形の構成要素や性質を基に、説明することができる指導の充実。
- 情報を収集し、それらを表に表して、適切に判断することができる指導の充実。
- 問題関係を的確に捉え、数量の関係について、論理的・発展的に考察し、数学的に表現することができる指導の充実。

【児童質問紙から…】学校や家庭での勉強や生活の様子について

- 早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣が身に付いている児童が多い。
- 「自分にはよいところがある」という自己肯定感をもっている子は全国平均に比べて高い。
- 「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」という子が、全国平均と比べて多い。
- 「いじめはどんな理由があっても許されない」「学校のきまりを守っている」という児童が多い。
- 学校の学習は「大切だ」と考え、意欲的・積極的に取り組んでいる子が多い。
- 観察や実験が好きという子が非常に多いが、その分もう少し観察・実験を行いたいと感じている子もいる。
- 「宿題」には多くの子が取り組んでいるが、「家で学校での学習の予習や復習している」、1日の学習時間「1時間以上」という児童が、全国平均と比べて少ない。
- テレビやビデオを見る時間が多く、テレビゲーム、メールやインターネットをしている時間も多い。
- テレビニュースやインターネットでのニュースは見ている子は多いが、「新聞」を読む子は少ない。
- 放課後や休日に地域の行事に参加したり、地域の方と過ごしたりする時間は少ないと感じている子が多い。

今回の調査によって子どもたちにつけなければならない力が見えてきました。改善の方向に示した指導を今後進めて参ります。他にも『日頃から読書に親しむ習慣や習った漢字を使いながら文章を書く機会を増やすこと』『学習した内容を家庭で復習する習慣を身に付けること』等、学校だけではなく家庭でもできる内容が子どもたちの「学ぶ力」に結びついていきます「『学び』のススメ」を再度ご覧いただき、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

